



エリアレポート

平和

NPT(核不拡散条約)再検討会議へ代表派遣

4/24 ~ 5/1

被爆と終戦70年を迎える今年、5年に一度開催されるNPT再検討会議に京都生協から2人の組合員が代表派遣されました。全世界に向けて被爆の実相や、核兵器廃絶に向けた願いを発信するため、日本原水爆被害者団体協議会(被団協)より48人と全国45生協から91人が参加。現地では日本から参加する被爆者をサポートしながら、世界中から集まった人々と一緒に核廃絶へ向けたアピール行動に参加しました。4月26日、生協の代表団は被爆者の方々と共にNGOの共同行動集会和平和パレードに参加。ニューヨーク3番街を行進し、各生協が準備してきた横断幕や折り鶴を持ち、核兵器廃絶への思いをアピール。国連本部近くのダグ・ハマーショルド広場まで行進しました。その後も各地で行われた被爆証言活動に参加し活動を支援しました。

NPT再検討会議 代表派遣報告はコーポロ9月号で報告を予定しています。



横断幕を持ち行進する生協代表団



▲日本被団協代表団の中で最高齢90歳の齋藤政一さん(前列左)と共に京都生協代表 日比明子さん(前列中央) 岡良枝さん(2列目中央)

くみかつレポート

保全活動

京丹後市 袖志 棚田を守る田植えを行ないました

—京都モデルファーム活用協定のとりくみ—

開催日 5/16

日本海に面した田園風景に魅了されながら、お米の苗に思いを込めて田植えを行ないました。



日本海の風を感じながら楽しい田植えができました♪



産地交流

綾部小畑地区 田植え体験・交流会

北ブロック 5/16

綾部市小畑町で毎年恒例の田植え体験・交流会を行ないました。田植え体験を通してお米の大切さや自然の素晴らしさを学び、その後、生産者の皆さんと手づくりカレーランチで交流しました。



学習

バスツアー企画 TOTO工場&佐川美術館見学

西ブロック 5/12

応募多数の中、抽選で45人が参加したバスツアー。コープハウジングで取り扱いのあるメーカー・TOTO滋賀工場で衛生陶器(便器)の製造工程を見学し、その後、佐川美術館を訪ねました。



参加お待ちしております

各地域ごとに、さまざまな学習会やイベントを行なっています。イベントの開催のご案内は、「ブロックニュース」または京都生協ホームページ「とりくみ・活動」をチェックしてください。



▲各地域ごとに発行している「ブロックニュース」「エリアニュース」。店頭または商品カタログと一緒に配布しています。

食育

玉ねぎ収穫体験と石窯ピザランチ&溪谷ハイキング

キッズクラブ 5/24

綾部いこいの村で玉ねぎの収穫を体験。収穫した野菜をトッピングして石窯で焼いたピザランチを楽しみました。その後、新緑が美しい溪谷をハイキングしました。



京丹後市丹後町袖志の棚田で、組合員と職員のパラソニア約120人が参加し、田植えを行ないました。日本海に面した袖志は、日本の棚田百選に選ばれた風光明媚な棚田が広がる地域です。しかし、近年、地域の過疎化や高齢化がすすみ、耕作放棄された田んぼが目立つようになっていきました。この4月、京都生協は、袖志棚田保存会、京丹後市、京都府、京都府農業会議の5者で「京都モデルファーム活用協定」を締結。棚田の栽培・管理、収穫などの農作業への協力や地域の活性化につながる活動を行なう協定を結びました。
田 植えに参加した人たちは、日本海の風を感じながら、素足で田んぼにつきり、ひとつひとつの苗を丁寧に植えていきました。秋に収穫されるお米は、「袖志棚田米」として宅配で限定企画される予定です。
今 後も、組合員と職員が一体となって関係機関と協力しながら、棚田を守る活動を進めていきます。